

「範は陸幼にあり」



発行は20年ほど前で古いのですが現在でも人として組織の人間として生きる術や意義を学べる書です。軍人の本だからとにべもなく否定することなく、読むことを薦めます。現在社会をどう生きるかの光明がみえると思います。

◎「範は陸幼にあり」
(國分 康孝 著/講談社)

社会研究室・押尾 賢一

平成27年度 図書年間貸出ベスト5

No.	書名	著者名	出版社
1	「社会体育ハンドブック 生活スポーツの発展をめざす」	宇土正彦 編著	大修館書店
2	『体育経営管理学講義』	宇土正彦(ほか) 編著	大修館書店
3	『オリンピックの内幕 聖火は永遠か』	ジェフリー・ミラー著 宮川毅訳	サイマル出版会
4	「21世紀オリンピック豆事典 オリンピックを知ろう!」	日本オリンピック・アカデミー・オリンピック・ムーブメント研究班 編	楽
5	『古代オリンピック』	ジュディス・スワドリング著 穂積八洲雄訳	日本放送出版協会

平成27年度 雑誌年間貸出ベスト5

No.	雑誌名	出版社
1	SEDA	日之出出版
2	体力科学	日本体力医学会
3	教員養成セミナー	時事通信社
4	体育の科学	杏林書院
5	Vivi	講談社

本学関係・寄贈図書

平成28年4月～平成28年9月まで受入分

No.	寄贈者	書名	著者名・監修	出版者(発行年)
1	佐藤理恵	ソフトボール基本と戦術	佐藤理恵 著	実業之日本社(2016)
2	掛水通子	データでみるスポーツとジェンダー		日本スポーツとジェンダー学会(2016)

Information

1

図書館の蔵書検索システムを変更しました。

8月16日(火)より、図書館の蔵書検索システムを変更しました。新しいシステムは貸出中の図書がわかるようになりました。



2

プリンターが新しくなりました。

プリンター2台が今年の4月からすべてカラープリンターとなり、新しくなりました。



編集・発行：東京女子体育大学・短期大学図書館運営委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

—スポーツ読書—

オリンピックとパラリンピックが終わりましたが、東京開催に向けて日本はまだまだスポーツに沸いています。ですが、そうした熱狂は、得てして冷めやすいものです。ですから、その感情を忘れず残していくために、様々なアスリートや指導者、評論家、研究者が本を書き著しています。そうした本を読むことを通して、私たちは、あの感動やあの記録を追体験したり、自分たちと同じ競技の分析や研究をしたりできます。一見すると関係のなさそうなスポーツと読書が、こうして繋がっていきます。

ぜひこの時に、スポーツの更なる奥深さを「図書館で体験」してみませんか?

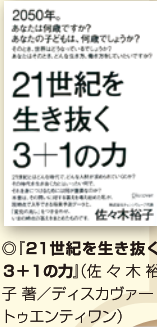


「21世紀を生き抜く3+1の力」

この本では、【2011年に小学校に入学する生徒の65%は、未だ存在しない職業に就職する】と言っています。つまり21世紀は、我々が創造もしない社会が待ち受けているのです。

そこで本書は3つの力を提言しています。『考える力』『共創する力』『進化する力』です。この力をどのようにつけるべきか？考えさせられる本と言えます。是非、一読を！！

陸上競技研究室・志賀 充



◎「21世紀を生き抜く3+1の力」(佐々木裕子 著/ディスカヴァー・トゥエンティワン)



◎「残念なメダリスト チャンピオンに学ぶ人生勝利学・失敗学」(山口香 著/中央公論新社)

メダリストになっていい人、悪い人とはどういうことか？オリンピックブームが過熱し、勝利至上主義的傾向の現代に、「本物のチャンピオンの資質」を問う本である。チャンピオンとメダリストとの違いとは何か？誰が残念なメダリストを作るのか？

体育大に通う学生をはじめ、指導者にも是非読んでいただきたい一冊。

武道(柔道)研究室・佐藤 愛子

「残念なメダリスト チャンピオンに学ぶ人生勝利学・失敗学」

「あおくんときいろちゃん」

「青と黄色を混ぜると…」そんなことがシンプルで味わいのある絵と文であらわされた絵本。私の人生で一番最初に出会った(と記憶している)本です。あの「スイミー」の作者レオ・レオニが孫達のために作ったと言われる作品。

本学図書館にもあります。難しいことを考えずに、素直な気持ちで、ぜひ読んでみてください。

教育工学研究室・渡邊 景子



◎「あおくんときいろちゃん」(レオ・レオニ(作)・藤田圭雄(訳)/至光社)



新任の先生方からの書籍紹介



◎「数学的思考の技術 不確実な世界を見通すヒント」(小島 寛之 著/ベスト新書)

「数学は必要、でも数学アレルギー？」の方、小島寛之著の「数学的思考の技術 不確実な世界を見通すヒント」(ベスト新書)は、「給料がなぜ上がらないか」「年金問題はなぜ起きたのか」など日常的な疑問からデフレ経済の処方箋までいま旬な事象を通して「数学的思考法」で考える技術を伝授してくれますよ。

教育実践研究室・星野 文男

「数学的思考の技術 不確実な世界を見通すヒント」

「青春を山に賭けて」



◎「青春を山に賭けて」(植村 直己 著/文藝春秋)

世界的登山家であり冒険家である植村直己が、世界初の五大最高峰登頂を始めとした数々の冒険を成功させる過程を描いた自伝です。数々の困難を克服して冒険を成し遂げるまでの描写はもちろん、自分の目標に対するひたむきで謙虚な筆者の姿勢に心を打たれます。

青春時代を生きる学生の皆さんには是非読んでもらいたい作品です。

野外運動研究室・永井 将史

「自分を好きになる本 Liking myself NEW EDITION」

自分を好きになることは誰にとっても、難しいことです。この本は子どもたちのために書かれました。しかし大人が読んでも心が「ほっこり」します。私たちは、いつも自分のダメなところに目が向きがちです。

この本を読み終わったら、自分が「自分」であることを楽しむ気持ちと自分を大切にすることができると感じます。

教育相談研究室・田島 真沙美



◎「自分を好きになる本 Liking myself NEW EDITION」(パット・バルマー著 eqPress訳/径書房)

